

令和5年度
事業報告書及び決算報告書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

令和6年6月

一般社団法人

新薬・未承認薬等研究開発支援センター

令和5年度 事業報告書

1：事業の目的と経緯等

「一般社団法人 新薬・未承認薬等研究開発支援センター（以下略称：「PDSC）」は設立当初（平成21年5月）からの事業目的である未承認薬等開発支援事業の活動を継続しております。

この他、令和2年4月に日本製薬工業協会（以下略称：「JPMA」）会員会社が組成した創薬研究プロジェクトの運営推進事業、また令和2年7月には厚生労働省委託事業である“新型コロナウイルスワクチン等生産体制等緊急整備事業（以下「新型コロナウイルスワクチン等事業」）”の基金管理事業を追加し、現在、これら3事業を併せて進めております。

2：令和5年度の事業報告

令和5年度の各事業（未承認薬等開発支援事業、創薬研究推進事業、新型コロナウイルスワクチン等基金管理事業）の活動について報告いたします。

（1）未承認薬等開発支援事業

従来からのドラッグラグ解消の取組みは、厚生労働省設置の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議（以下「未承認薬等検討会議」）」において医療上の必要性が高いと認められた未承認薬等（開発要請品または開発公募品）に対し、業界を挙げ積極的に薬事承認の取得に努めたことで大きく解消されてきており、本スキームは現在も継続しております。

「参考（～2023年11月）」

- ・医療上の必要性が高いと評価した医薬品：435件（要望件数：1046件）
- ・薬事承認取得件数：356件（約82%）

PDSCはこれら取組みに対し、以下3項目の支援活動を行っております。

① 未承認薬等の研究、開発、生産等における開発企業等に対する専門的支援

② 開発企業等の行う承認取得に関する各種業務等への支援

これら支援の対象は主にベンチャー企業や開発経験の少ない企業が中心ですが、この他、様々な課題を有する開発公募品や厚労省関係部署等からの協力依頼を受けた開発要請品に対し、適時対応しました。

また他製薬企業、医療機関、学会等からの未承認薬等に係る相談/要請等や未承認薬等の通常使用を待ち望んでおられる患者さん・家族からの問合せ等に対し引続き丁寧に対応しました。

③ 未承認薬等の開発等において必要な資金の援助

開発公募品の開発募集に手助けいただいた企業への支援として、PDSC資金（開発助成）を原資とする助成金交付事業を継続しております。

1）助成金交付の対象と金額

平成21年度対策基金対象14成分および開発公募品を交付対象とし、1件あたりの助成金額は14成分5,000万円、公募品3,000万円を上限としております。

2）助成金交付の進捗等について

令和5年度の交付実績はなく、開発進捗は9件（下線部：薬価収載・販売：4件、開発治験：

3 件、開発計画：2 件）でした。（別表 1：参照）

なお令和 5 年度末までの助成金交付の進捗状況は下表のとおりで、なかでも未完了（交付予定）件数の減少（20→14 件）については、昨年の社員総会において報告済の 5 件の減少（医療上の必要性の見直し、開発要請に変更等）に加え、今年度は更に 1 件減少し、計 6 件減少し、今後の必要資金は約 2 億円の減が見込まれます。

助成対象	令和4年度末				令和5年度末			
	公募品 件数	完了 件数	未完了 件数	必要資金 (百万円)	公募品 件数	完了 件数	未完了 件数	必要資金 (百万円)
14成分(~H21.4)	14	13	1	50	14	14	0	0
第1回公募(H21.6~)	17	12	5	150	15	12	3	90
第2回公募(H23.8~)	15	14	1	27	14	13	1	27
第3回公募(H25.8~)	4	0	4	120	3	0	3	90
第4回公募(H27.7~)	14	5	9	270	12	5	7	210
計	64	44	20	617	58	44	14	417

3) 必要資金の変動に伴う年会費に対応について

未承認薬の環境変化に伴う必要資金 2 億円減に加え、あらたな公募品については今年度の実績はなく、また次年度以降も大幅な増加は考えにくい状況にあります。

このような状況と助成引当金等の保有資金との関係を検討すべく、第 44 回理事会（本年 3 月開催）に諮り審議の上、令和 6 年度以降の年会費の徴収を当面見送ることが妥当と判断されました。（社員会社各位に理事会承認資料等を郵送報告済）

(2) 創薬研究推進支援事業

【実施目的】

製薬協「政策提言 2019」におけるイノベーション政策の実現に向け、業界主導型の研究プロジェクトの機動的な運営を図る。

【業務内容】

- ◇ 研究プロジェクト全体の運営及び管理（研究 PJ 運営会議の開催）
- ◇ プロジェクトにおける外部組織との契約締結
- ◇ 公的研究資金への応募及び資金の受け入れ

【令和 5 年度活動実績】

◇ 現在、進行中の 4 コンソーシアム

1) DELs (DNA-encoded Library) コンソーシアム (J-MODDEL)、参加企業：9 社

《目標（期間）》

ライブラリ Center の設立（令和 4～6 年度⇒8 年度）

《令和 5 年度実績》

- ・ DELs 新規合成法の特許出願等
- ・ 高度新規 DELs の合成（9DELs ライブラリデザイン完了）

- ・評価方法の構築
- ・アカデミアとの共同研究の継続 等

2) RNA 創薬コンソーシアム (J-SMART)、参加企業：7 社

《目標 (期間)》

低分子 RNA 創薬プラットフォームの構築 (令和 4 年度から 6 年間)

《令和 5 年度実績》

- ・下記事業について、アカデミアとの個別会議から実行フェーズに展開
AMED 事業 (経産省：次世代治療・診断のための創薬基盤技術開発事業)
課題：機能解析に基づく RNA 標的創薬のための統合 DB と AI システムの構築
- ・下記事業について、アカデミアとの個別会議等での協議中
AMED 事業 (BINDS)
課題 1：RNA ターゲット創薬のための RNA 分子設計等とその高度化
課題 2：RNA に対する機能配列の *in silico* 予測研究

3) 疾患別統合データベースの構築、参加企業：7 社

《目標 (期間)》

国立高度専門医療研究センター (4NC) と共同で AMED の産学官共同臨床情報活用創薬プロジェクト (GAPFREE) に参画し、“疾患別情報統合 DB” を構築し、参画企業の創薬研究活用を目指す (令和 2 年度から 5 年間)

《令和 5 年度実績》

倫理審査等後、GAPFREE 等の研究計画に基づき進行

4) DDS コンソーシアム (参加企業：13 社)

《目標 (期間)》

新規 DDS 及び最先端モダリティに対応可能で、臨床予測性の向上につながる DDS 評価の体系的構築を行い、参加企業各々の創薬研究開発を促進する (令和 3 年度から 6 年間)

《令和 5 年度実績》

- DDS 評価体系に関するアカデミアとの勉強会の継続。
- 個別案件から AMED と体系的な評価方法発展に資する協議
- AMED 事業におけるアカデミアとの共同研究の実施
- 令和 6 年度の経産省公募案件に対する意見交換

◇ 新規 PJ の候補創出に係る新テーマへの取り組み

製薬協「政策提言 2019」に引き続き、「政策提言 2023」において、産官学が一体となった日本の創薬力強化による革新的新薬の創生を、国内アカデミアとの産学連携による基礎研究力の底上げと社会実装を同時に実現することを目指し、産学連携創薬推進協議会を設立し、以下の 6 テーマに取り組むこととした。

なお、PDSC はこれらの立ち上げに係る協議会等の業務を担い、担当企業ならびにアカデミアとの契約等を進めている。

《6 テーマ》

▽患者由来の iPS 細胞の創薬活用

- ▽ダイレクトトリプログラミングを活用したヒト疾患モデルの作成、病態解明や薬物スクリーニングなどへの応用
- ▽化合物を使うケミカル・ダイレクトトリプログラミング技術の開発
- ▽PETの高度化、高精度脳機能イメージングの創薬活用
- ▽遺伝子改変技術の応用による疾患などのモデル動物作成と創薬活用
- ▽エクソソームの機能解析と創薬活用

(3) 「新型コロナワクチン等事業」 基金に係る管理事業

本事業は、第21回社員総会（令和2年6月開催）において基金管理団体への応募が承認され、令和2年7月、MHLW指定の基金管理団体として進めている事業です。

令和5年度の交付実績は総額：約5,253億円余りで、適正な管理のもと滞りなく実行しました。

なお、本基金事業全体の予算規模は総額：約4兆3,184億円です。

【公募事業】

1) 新型コロナウイルスワクチン生産体制整備事業

「目的」

国内外で開発されたワクチンを国内で生産・製剤化するための施設・設備等整備への補助。

公募にて、7事業者（武田薬品工業、塩野義製薬、アストラゼネカ、アンジェス、KMバイオロジクス、第一三共、VLP）を採択。

「現状と計画」

本事業に係る交付は令和3年度内に完了し、令和4年度以降は生産設備等の設置が完了した事業会社より現地監査を適時実施しております。

2) 新型コロナウイルスワクチン開発支援および部素材の品質等評価等事業

「目的」

国産ワクチン開発に係る発症予防効果評価試験および大規模臨床試験等費用の補助ならびに買上げ。対象企業は、生産体制整備事業で採択した国産ワクチン開発企業（第一三共、塩野義製薬、KMバイオロジクス、VLP社、Meiji Seikaファルマ）の計5社。

またワクチン製造に必要な部素材の開発に取り組む企業7社（タカラバイオ、藤倉コンポジット、藤森工業、ロキテクノ、トヨックス、CBC、富士フィルム）に対する開発支援（品質等評価試験）を実施。

「交付実績等」

現在、継続中（内容詳細は非公表）

【非公募事業】

1) 新型コロナワクチン緊急輸入等の事業

「目的」

国内に必要なワクチンの確保および供給に必要な費用等の整備。

「対象企業」

一次（令和3年3月末終了）：ファイザー、モデルナ、アストラゼネカ
 二次（継続中）：ファイザー、モデルナ、ノババックス、第一三共（国産ワクチンの実現）
 「交付実績等」
 令和6年3月末にて公費接種終了（内容詳細は非公表）

2) 新型コロナワクチン感染症治療薬の確保事業

「目的」
 新型コロナウイルス感染症治療薬の必要な数量の買上げによる医療提供体制の整備
 「対象企業」
 ファイザー（パキロビッド）、MSD（ラゲブリオ）、ギリアドS（ベクルリー）
 GSK（ゼビュディー）、アストラゼネカ（エバシエルド）、中外製薬（ロナプリーブ）
 塩野義製薬（ゾコーバ）
 「交付実績等」
 現在、保管管理費等のみ（内容詳細は非公表）

【管理事務費】

基金管理団体	交付額	令和5年度配賦額	配賦済累計額	残額
P D S C	180,439,000	45,717,781	177,835,302	2,603,698

追加申請中：52,880,000

3：本年度、開催した理事会および社員総会

(1) 理事会

第42回理事会

日 時：令和5年5月25日
 場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング3階
 議 案：① 令和4年度事業報告案に関する件
 ② 令和4年度決算報告案に関する件
 ③ 定時社員総会招集および付議すべき議案の承認に関する件

第43回理事会

日 時：令和5年6月20日
 場 所：日本橋ライフサイエンスビル3階
 議 案：代表理事および専務理事の選任に関する件

第44回理事会

日 時：令和6年3月21日
 場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング3階
 議 案：① 令和6年度事業計画に関する件
 ② 年会費徴収の変更に関する件
 ③ 令和6年度予算に関する件

(2) 定時社員総会 (第 24 回)

日 時：令和 5 年 6 月 20 日

場 所：日本橋ライフサイエンスビルディング 2 階 大会議室

出席社員：出席 26 社および委任状提出 46 社 (総社員数 73 社)

議 案：① 令和 4 年度事業報告に関する件
② 令和 4 年度決算報告に関する件
③ 理事の選任に関する件

以上

別表 1

助成金交付と開発進捗の状況

《未承認薬 14 成分》

上限 5,000 万円

令和 6 年 3 月末見込み (単位: 円)

	成分名	開発企業	令和5年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	クロファラビン	ジェンザ [®] 仏・ジ [®] ヲン	完了	44,547,779	0	薬価収載・販売
2	アレムツズマブ	ジェンザ [®] 仏・ジ [®] ヲン/オノ [®] フイ	完了	49,200,828	0	薬価収載・販売
3	タルク	ノーベル [®] ファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
4	スチリペンツール	Meiji Seika [®] ファルマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
5	ルフィナミド	エーザイ	完了	47,225,202	0	薬価収載・販売
6	メサドン	帝國製薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
7	ヒトヘミン	シミックHD	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
8	テトラペナジン	アルフレツサ [®] ファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
9	経口リン酸塩製剤	ゼリア新薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
10	フェニル酪酸ナトリウム	シミックHD	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
11	ストレプトゾシン	ノーベル [®] ファーマ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
12	システアミン	マイラン製薬	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
13	ベタイン	レクメド	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
14	ペグアスパラガーゼ	日本セルヴィエ	完了	50,000,000	0	薬価収載・販売
	合計			690,973,809	0	

《第 1 回開発企業公募 15 件》

上限 3,000 万円

令和 6 年 3 月末見込み (単位: 円)

	成分名	開発企業	令和5年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	コリスチンメタンスルホン酸 ナトリウム塩 (注射剤)	グラクソ・スミスクライン	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
2	コリスチンメタンスルホン酸 ナトリウム塩 (吸入剤)	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
3	プロゲステロン (経口剤)	富士製薬工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
4	プロゲステロン (経膈剤)	富士製薬工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
5	メトロニダゾール	ファイザー	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
6	デクスラゾキサン	キッセイ薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
7	亜セレン酸ナトリウム	藤本製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
8	ホメピゾール	武田薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
9	メチレンブルー	第一三共	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
10	モルヒネ塩酸塩水和物	日本メドトロニック	完了	2,057,051	0	薬事承認済
11	カルグルミック酸①	ポーラファルマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売

12	ニチシノン	アステラス製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
13	安息香酸ナトリウム・フェニル酢酸ナトリウム配合剤	武田薬品工業	0	0	30,000,000	—
14	ナフシリン	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
15	ハイドロモルフォン塩酸塩	第一三共	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
	合計		0	332,057,051	90,000,000	

《第2回開発企業公募14件》 上限3,000万円 令和6年3月末見込み (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和5年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	カルグルミック酸②	ポーラファルマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
2	ジメチルスルホキシド	杏林製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
3	スルファジアジン	ハルティスファーマ	0	3,034,444	26,965,556	開発中
4	チオテパ (成人)	大日本住友製薬	完了	60,000,000	0	薬価収載・販売
5	チオテパ (小児)					
6	ヒスタミン二塩酸塩 (成人)	JT/鳥居薬品	完了	60,000,000	0	薬価収載・販売
7	ヒスタミン二塩酸塩 (小児)					
8	ペガデマラーゼ	帝人ファーマ	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
9	メコリン塩化物 (成人)	三和化学研究所	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
10	メコリン塩化物 (小児)	参天製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
11	メチロシン	小野薬品工業	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
12	イブプロフェン リジン塩	千寿製薬	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
13	3-エトキシベンジルグリセリン①	PDRファーマ	完了	60,000,000	0	開発計画中
14	3-エトキシベンジルグリセリン②					薬価収載・販売
	合計		0	393,034,444	26,965,556	

《第3回開発企業公募3件》 上限3,000万円 令和6年3月末見込み (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和5年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	ヒト合成セクレチン①	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
2	ヒト合成セクレチン②	(企業名未公表)	—	—	30,000,000	—
3	イベルメクチン	科研製薬	—	—	30,000,000	開発治験中
	合計		0	0	90,000,000	

《第4回開発企業公募12件》 上限3,000万円 令和6年3月末見込み (単位:円)

	医薬品名	開発企業	令和5年度交付額	交付額累計	残額	開発状況
1	ヘリウム酵素混合ガス	エア・ウォーター	0	0	30,000,000	開発治験中

2	Carbidopa/Levodopa	大原薬品工業	0	0	30,000,000	開発治験中
3	ミダゾラム	丸石製薬			30,000,000	開発計画中
4	β -グルクロニダーゼ	アミカ・セラピューティクス	完了	30,000,000	0	薬価収載・販売
5	コール酸 (成人)	レクメド	完了	60,000,000	0	薬価収載・販売
6	コール酸 (小児)					
7	ホンダ [®] ンセト [®] ン (成人)	丸石製薬	完了	15,996,500	0	薬事承認・販売
8	ホンダ [®] ンセト [®] ン (小児)					
9	Angiotensin II	なし			30,000,000	
10	イソトレチノン	サンファーマ			30,000,000	開発治験中
11	Doxylamine/Pyridoxine	なし			30,000,000	
12	リドカイン (ゲル外用)	東洋製薬化成			30,000,000	開発計画中
	合計		0	105,996,500	210,000,000	

以上

貸借対照表

(令和 6年 3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	785,705,745,593	53,130,586,360	732,575,159,233
有価証券	0	1,356,893,455,998	-1,356,893,455,998
前払費用	634,370	634,370	0
流動資産合計	785,706,379,963	1,410,024,676,728	-624,318,296,765
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	16,490,000	14,960,000	1,530,000
退職給付引当資産	1,987,205	1,256,971	730,234
センター支援事業引当資産	300,000,000	300,000,000	0
新型コロナウイルスワクチン 管理事業特定預金	2,603,698	48,321,479	-45,717,781
特定資産合計	321,080,903	364,538,450	-43,457,547
(2) その他固定資産			
付属設備	239,301	310,290	-70,989
什器備品	29,131	34,965	-5,834
敷金	4,610,962	4,610,962	0
その他固定資産合計	4,879,394	4,956,217	-76,823
固定資産合計	325,960,297	369,494,667	-43,534,370
資産合計	786,032,340,260	1,410,394,171,395	-624,361,831,135
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	560,108	327,662	232,446
新規事業 預り金	4,071,235	31,384,080	-27,312,845
預り補助金(1年以内)	785,206,980,081	607,601,703,884	177,605,276,197
その他預り金	274,044	0	274,044
流動負債合計	785,211,885,468	607,633,415,626	177,578,469,842
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	16,490,000	14,960,000	1,530,000
退職給付引当金	1,987,205	1,256,971	730,234
預り補助金(1年超)	0	801,936,535,000	-801,936,535,000
固定負債合計	18,477,205	801,952,751,971	-801,934,274,766
負債合計	785,230,362,673	1,409,586,167,597	-624,355,804,924
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取助成金	2,603,698	48,321,479	-45,717,781
指定正味財産合計	2,603,698	48,321,479	-45,717,781
(うち特定資産への充当額)	(2,603,698)	(48,321,479)	(-45,717,781)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	799,373,889	759,682,319	39,691,570
(うち特定資産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	(0)
正味財産合計	801,977,587	808,003,798	-6,026,211
負債及び正味財産合計	786,032,340,260	1,410,394,171,395	-624,361,831,135

正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取会費	50,000,000	50,000,000	0
正会員受取会費	50,000,000	50,000,000	0
②受取助成金振替額	45,717,781	49,292,716	-3,574,935
新型コロナウイルスワクチン等管理事業	45,717,781	49,292,716	-3,574,935
③雑収益	9,289	8,657	632
受取利息	9,289	8,657	632
経常収益計	95,727,070	99,301,373	-3,574,303
(2) 経常費用			
①事業費	50,564,903	71,697,044	-21,132,141
センター支援事業費	0	20,000,000	-20,000,000
事業管理費	50,564,903	51,697,044	-1,132,141
役員報酬	9,748,080	10,289,640	-541,560
給料手当	22,400,772	21,789,653	611,119
通勤交通費	596,240	607,730	-11,490
役員退職慰労給付費用	1,377,000	1,444,000	-67,000
退職給付費用	730,234	628,485	101,749
福利厚生費	3,873,565	4,113,751	-240,186
旅費交通費	92,909	296,102	-203,193
図書調査費	78,408	82,764	-4,356
通信運搬費	181,913	184,631	-2,718
減価償却費	38,411	40,750	-2,339
消耗品費	271,206	315,185	-43,979
賃借料	8,872,534	9,386,779	-514,245
諸謝金	1,358,280	1,526,844	-168,564
広報費	316,800	356,400	-39,600
雑費	628,551	634,330	-5,779
②管理費	5,470,597	3,182,744	2,287,853
役員報酬	1,083,120	541,560	541,560
給料手当	1,511,664	739,397	772,267
通勤交通費	25,564	15,630	9,934
役員退職慰労給付費用	153,000	76,000	77,000
福利厚生費	430,132	175,126	255,006
会議費	863,962	865,806	-1,844
旅費交通費	1,382	6,584	-5,202
図書調査費	8,712	4,356	4,356
通信運搬費	20,213	11,868	8,345
減価償却費	38,412	40,751	-2,339
消耗品費	30,134	16,589	13,545
賃借料	985,837	494,041	491,796
諸謝金	150,920	80,360	70,560
租税公課	18,800	40,300	-21,500
広報費	79,200	39,600	39,600
雑費	69,545	34,776	34,769
経常費用計	56,035,500	74,879,788	-18,844,288
当期経常増減額	39,691,570	24,421,585	15,269,985

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	39,691,570	24,421,585	15,269,985
一般正味財産期首残高	759,682,319	735,260,734	24,421,585
一般正味財産期末残高	799,373,889	759,682,319	39,691,570
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-45,717,781	-49,292,716	3,574,935
当期指定正味財産増減額	-45,717,781	-49,292,716	3,574,935
指定正味財産期首残高	48,321,479	97,614,195	-49,292,716
指定正味財産期末残高	2,603,698	48,321,479	-45,717,781
III 正味財産期末残高	801,977,587	808,003,798	-6,026,211

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

付属設備及び什器備品

定率法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

① 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支払に備えるため、役員退職金規程に基づく必要額を計上しています。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
役員退職慰労引当資産	14,960,000	1,530,000	0	16,490,000
退職給付引当資産	1,256,971	730,234	0	1,987,205
センター支援事業引当資産	300,000,000	0	0	300,000,000
新型コロナウイルスワクチン 管理事業特定預金	48,321,479	0	45,717,781	2,603,698
合計	364,538,450	2,260,234	45,717,781	321,080,903

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
役員退職慰労引当資産	16,490,000	(ー)	(ー)	(16,490,000)
退職給付引当資産	1,987,205	(ー)	(ー)	(1,987,205)
センター支援事業引当資産	300,000,000	(ー)	(300,000,000)	(ー)
新型コロナウイルスワクチン管理事業 特定預金	2,603,698	(2,603,698)	(ー)	(ー)
合計	321,080,903	(2,603,698)	(300,000,000)	(18,477,205)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
附属設備	1,761,144	1,521,843	239,301
什器備品	221,029	191,898	29,131
合計	1,982,173	1,713,741	268,432

5. 補助金等の内訳、交付者及び当期の増減額並びに残高

補助金等の内訳、交付者及び当期の増減額並びに残高は、次のとおりであります。

(単位：千円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(1) 受取助成金 (基金管理事務費)						
新型コロナウイルスリスク管理 事業	厚生労働省	48,321	0	45,717	2,603	指定正味財産
小計		48,321	0	45,717	2,603	
(2) 預り補助金						
新型コロナウイルス等生産 体制整備事業	厚生労働省	1,409,538,238	△100,800,000	△1,848,762 525,380,020	785,206,980	流動負債
小計		1,409,538,238	△100,800,000	523,531,258	785,206,980	
合計		1,409,586,560	△100,800,000	523,576,976	785,209,583	

(注) 千円未満は、切捨て計算しております。

当期増加額のマイナス(△印)表示は補助金の国庫返還分です。

補助金の返還分は「当期減少額」の上段にて集計したため、マイナス(△印)の表示としております。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	45,717,781
合計	45,717,781

7. 重要な後発事象

該当事項ありません。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2.に記載しているため、記載を省略いたします。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	14,960,000	1,530,000	0	0	16,490,000
退職給付引当金	1,256,971	730,234	0	0	1,987,205

(注) 計上の理由及び金額の算定方法は財務諸表に対する注記1. 重要な会計方針に記載のとおりであります。